

令和3年度小平市立花小金井小学校～「全国学力・学習状況調査」結果概要～

1 調査目的・対象

児童・生徒の学力や学習状況を把握・分析し、成果と課題を検証し、その改善を図るとともに、今後の児童・生徒への教育指導の充実や学習状況の改善等に役立てるための調査です。

2 調査内容

(1) 教科に関する調査

身に付けておこななければ後の学年等の学習内容に影響を及ぼす内容や、実生活において不可欠であり常に活用できるようになっていることが望ましい知識・技能等、また、知識・技能を実生活の様々な場面で活用する力や、様々な課題解決のための構想を立て実践し評価・改善する力等に関することを児童が答える調査です。

(2) 生活習慣や学習環境等に関する質問紙調査

学習意欲、学習方法、学習環境、生活の諸側面等に関することを児童が答える調査です。

3 各教科の調査結果の分析

【国語】

状況の分析

課題

平均正答数は都、全国平均を上回っている。全問正答の割合は都、全国平均よりも下回っているものの11～13問正答の割合は都、全国より上回っており、学習内容が定着している様子が見られる。観点別に見ても都、全国平均を上回っている。

内容では書くことにおいて都平均を下回っている。また、問題形式では記述式が都、全国平均を下回っており、書くことに苦手意識が見られる。

学校で取り組む具体的な改善策

書くことへの苦手意識を克服していくために定期的に視写の指導を行う。また宿題等で日記を書くよう指導し、自分の考えを書くことに慣れさせていく。そしてどのように書くとよいのか指導をするとともに、よくかけたものを紹介する等してよいモデルを示していく。

【算数】

状況の分析

課題

平均正答数は都、全国の平均を上回っている。全問正答、15問正答の割合が都、全国平均を大きく上回っており、学習内容の定着が見られる。観点別に見ても都、全国平均を上回っている。

領域、問題形式でも都、全国平均を上回っているが測定領域の正答率が都平均とそれほど変わらなかった。複数の図形を組み合わせた面積を求める問題の正答率が低く、工夫して求めることが苦手な傾向が見られる。

学校で取り組む具体的な改善策

測定領域の苦手意識を克服していくために東京ベーシックドリルの問題に繰り返し取り組ませる。また工夫して求めることにも課題があるので、問題解決型の学習を日々行い、自分の考えをもち、それを友達に伝え、全体で考えを共有して深めていくことを繰り返し、工夫して問題を解決することに慣れさせていく。

【質問紙】**状況の分析****課題**

家庭学習の様子、自己肯定感など、どの項目でも概ね肯定的に回答している児童が多く、日々の生活を前向きに過ごしている様子が見られる。

肯定的な回答が少なかった設問は自分の考えを発信するところに課題が見られた。考えたことを伝えるにはどうしたらよいか指導をし、伝えるスキルを向上させるとともに、自己肯定感を高める必要がある。

学校で取り組む具体的な改善策

自分の考えを発信していくことに課題がある。国語の課題である書くこととタイアップさせて日記で自分の考えを書けるように指導していく。また算数の課題である工夫して求めることとタイアップさせて、自分の考えをもつ、それを伝え合う、全体で共有するという問題解決型の学習形態を繰り返し行っていくことで、考えを発信することに慣れさせていく。